

令和3年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費	領域 持続可能なまちづくり 取組の方向 ⑦ 人を惹きつける魅力ある都心空間の創出
担当課	都市圏魅力づくり推進課	
事業名	都市圏魅力創造事業（単県）	

目的

広島都市圏及び備後圏域において、内外の多様な人材を惹きつける魅力と活力ある地域環境の創出に向け、各圏域の中心である広島市及び福山市と連携した取組を推進する。

事業説明

対象者

広島市、福山市、県民等

事業内容

- 広島市都心部（紙屋町・八丁堀地区及び広島駅周辺地区）の中核拠点性の向上を目指して、広島市と連携して取り組む。
- 備後圏域の活性化につながる福山駅周辺の魅力の向上を目指して、福山市と連携して取り組む。

（単位：千円）

区 分	内 容	当初 予算額	最終 予算額	予算 執行額 [繰越額]
魅力的な 都市環境 形成事業	≪広島市≫ ○ 広島都心部のまちづくりの推進 ・エリアマネジメント団体の活動支援などを行う広島都心会議の取組を支援	2,500	2,500	2,500 [－]
	≪福山市≫ ○ 福山駅周辺地区のまちづくりの推進 ・エリアの価値を高める開発の促進に向け、具体的手法を検討する地権者などを対象として、市が開催する勉強会などの取組を支援	3,500	3,500	3,500 [－]
	≪共通≫ ○ 先進事例調査・有識者ヒアリング等	1,369	1,137	123 [－]
合 計		7,369	7,137	6,123 [－]

令和3年度の成果目標と実績

- ワーク目標

指 標 名	基準値 (平成28年度)	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和3年度)
ひろしま都心活性化プランの実現に向けて広島市と連携した取組件数（累計）	5件	11件	12件
福山駅前の再生に向けて福山市と連携した取組件数（累計）	—	4件	4件

令和3年度の目標と実績の乖離要因・課題

- 広島市都心部については、令和2年9月に広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区が広島都心地域へ統合され、その一部が特定都市再生緊急整備地域に指定されたことで、民間の開発機運も喚起され、令和4年3月には、基町相生通地区第一種市街地再開発事業が都市計画決定されたほか、複数の再開発事業の検討の動きも見られた。また、国土交通省の「官民連携まちなか再生推進事業」の採択を受けて、未来ビジョンの策定などに取り組む団体があるなど、エリアマネジメント活動が動き始めている。

こうした中、令和3年4月に、地域住民、地権者、民間企業、エリアマネジメント団体等の様々な関係者や行政が一体となって継続的にまちづくりを推進していく「広島都心会議」が設立され、設立初年度である令和3年度は、活動方針の整理など組織体制の整備を行うとともに、エリアマネジメント団体等の状況把握や関係構築を中心とした活動を行った。

- 福山駅周辺地区については、「福山駅前再生ビジョン」及び「福山駅周辺デザイン計画」に基づく公民連携プロジェクトが推進されるように、福山駅前デザイン会議等に参加し、県市で取り組んできた。

こうした中、三之丸町地区（旧キャスパ等跡地）の優良建築物等整備事業の新築工事に着手するなど、福山駅周辺の再生が着実に進んできた。

- 今後も、様々な関係者がエリアの目指す姿を共有しながら、広島都心や福山駅周辺のまちづくりを進めていく必要がある。

令和4年度の実行方針

- 広島市都心部においては、「広島都心会議」が行う、広島都心全体を俯瞰したビジョンの策定やエリアマネジメント団体等の支援などの活動を支援していくことを通して、「ひろしま都心活性化プラン」に掲げる都心の将来像の実現に向けて、広島市と連携して取組を進めていく。
- 福山駅周辺地区においては、エリアの価値を高める開発の促進に向けて、具体的な手法の検討を行う勉強会の開催や、三之丸町で備後圏域の賑わいづくりを牽引する施設を整備する事業者の支援など、「福山駅前再生ビジョン」及び「福山駅周辺デザイン計画」の実現に向けた福山市の取組を支援していく。

令和3年度主要事業の成果

支出科目	款：土木費 項：土木管理費 目：建築指導費
担当課	建築課
事業名	福山市三之丸町地区再生促進事業（単県）

目的

県の発展に重要な地区において、まちづくりの中核となる施設を整備することにより、地域の活性化につなげるとともに、県の広域的ポテンシャルの向上を図るため、広域交通結節点として県東部地域の拠点である福山駅前周辺地区の再生を支援する。

事業説明

対象者

福山市

事業内容

(単位：千円)

内 容		当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
福山市三之丸町地区の再生の支援	<p>優良建築物等整備事業（国庫補助制度）を活用して、「福山駅前再生ビジョン」に基づき福山駅前周辺地区の再生を図ろうとする市に対し、この地区の広域的ポテンシャル向上の観点から補助する。</p> <p>ア 補助対象事業費：住宅部分を除く、調査設計計画費、土地整備費、共同施設整備費</p> <p>イ 負担割合：県 1/6（国 1/3，市 1/6）</p> <p>※福山駅前地区のまちづくりの推進（地域政策局） エリアマネジメントの活性化に向けた人材育成等 （事業名：都市圏魅力創造事業 要求額：3,500千円）</p>	9,445	8,678	7,238 [－]
合 計		9,445	8,678	7,238 [－]

令和3年度の成果目標と実績

○ ワーク目標

指 標 名	基準値 (令和元年度)	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和3年度)
福山駅前再生に向けて福山市と連携した取組件数(累計)	3件	4件	4件

- 事業目標 : 福山市三之丸町地区における流動客数の増加
(R3目標) 優良建築物等整備事業による施設整備の取組の着実な実施
設計の実施, 施設建築物の建設

○ 実績

中棟 : 一部竣工 (3階以上)

北棟 : 工事着手 (工期 : R3.11月~R6.3月)

令和3年度の目標と実績の乖離要因・課題

- 優良建築物等整備事業による施設整備は, 着実に進んでいる。

令和4年度を取組方向

- 三之丸町地区の再生が県の拠点性を高める取組となるように, 引き続き福山市と連携して事業の進捗を管理していくとともに, 広域交通結節点として県東部地域の拠点である福山駅前周辺地区の再生を支援していく。

令和3年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費	<table border="1"> <tr> <td>領域</td> <td>中山間地域</td> </tr> <tr> <td>取組の方向</td> <td>① 人材の発掘・育成、ネットワークの拡大</td> </tr> </table>	領域	中山間地域	取組の方向	① 人材の発掘・育成、ネットワークの拡大
領域	中山間地域					
取組の方向	① 人材の発掘・育成、ネットワークの拡大					
担当課	中山間地域振興課					
事業名	ひろしま里山・人材力加速化事業 (単県) 【一部新規】					

目的

これまで発掘・育成してきた中山間地域の地域づくりリーダーの活動が、将来にわたって主体的かつ継続的に発展されるよう、資金調達支援や人材のネットワーク化を進めるとともに、多様な人材の確保に向けて、活動参画への一層の機運醸成を図る。

事業説明

対象者

県民等

事業内容

(単位：千円)

内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]	
地域づくり活動への機運醸成【一部新規】	○ オンライン「ミニ未来博」の開催【新規】 ・地域づくり活動を紹介する特設サイトの開設(活動の動画配信等) ・オンライン体験プログラムの企画等	34,600	37,271	37,245 [—]
	○ 「ひろしま里山グッドアワード」の実施	5,068	4,886	4,771 [—]
新たな人材の育成	○ リーダー育成塾の開講 ・地域づくりのノウハウを学ぶ「ひろしま《ひと・夢》未来塾」の開講(第7期)	10,000	10,000	9,498 [—]
チーム500を活用した活動の活性化	○ 中山間地域の活動実践者のプラットフォーム「ひろしま里山・チーム500」の運営 ・登録者の地域づくり活動情報の発信 ・実践者間の交流促進 ・地域内外の人材をつなげるウェブサイトの運営 ○ 新たな活動支援のための環境整備 ・産学金官で構成する「さとやま未来円卓会議」による助言等 ・自立的な活動実践に向けたクラウドファンディング活用支援 ○ 相談窓口「サポートデスク」の運営	12,865	12,495	12,131 [—]
合 計	62,533	64,652	63,646 [—]	

※端数処理の関係で積み上げた数字と合計額が異なる場合がある。

令和3年度の成果目標と実績

○ ワーク目標

指標名	基準値 (令和元年度)	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和3年度)
チーム500の新規登録者数	65人	75人	116人

令和3年度の目標と実績の乖離要因・課題

- ひろしま《ひと・夢》未来塾やクラウドファンディング講座の受講者への働きかけに加え、地域づくりに取り組む人材の裾野を拡大するために開催した「ひろしま さとやま未来博 2021」により発掘した人材に「ひろしま里山・チーム500」への登録を促すことで目標値を超える登録者数となった。
- 中山間地域の課題解決に取り組む人材は着実に増えてきている中、今後は、コミュニティビジネスのみならず、地域に根差した活動などに取り組む人材の裾野の拡大に向けた取組の充実・強化を図っていく必要がある。

令和4年度を取組方向

- 中山間地域で地域づくりに取り組む人や活動をつなぐプラットフォーム「ひろしま里山・チーム500」を基盤として、引き続きその活動を継続・発展させるとともに、地域づくりに取り組む人材の裾野を拡大するため令和3年度の「ひろしま さとやま未来博 2021」のノウハウを生かしながら、地域づくりの関心層が実践者となっていくよう促していく。
- また、中山間地域に暮らす人々が将来に向けて、地域の元気さを実感できる環境を創出するため、「ひろしま里山・チーム500」の登録者が地域を巻き込み、地域と協働して行う新たな活動の創出を支援し、継続的な取組となっていくよう、市町と連携し、積極的な助言などに努めていく。

令和3年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費	<table border="1"> <tr> <td>領域</td> <td>中山間地域</td> </tr> <tr> <td>取組の方向</td> <td>① 人材の発掘・育成、ネットワークの拡大</td> </tr> </table>	領域	中山間地域	取組の方向	① 人材の発掘・育成、ネットワークの拡大
領域	中山間地域					
取組の方向	① 人材の発掘・育成、ネットワークの拡大					
担当課	中山間地域振興課					
事業名	ひろしま版里山エコシステム構築事業 (一部国庫) 【新規】					

目的

中山間地域の課題解決に向けた地域団体や実践者の活動を広く紹介し、地域貢献に関心の高い企業等へつなぐための広島県の専用サイトを開設することにより、様々な関係者が活動を継続的に支えていくことのできる仕組みを構築する。

事業説明

対象者

地域づくり活動実践者、民間企業等

事業内容

(単位：千円)

内 容		当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
マッチングの 仕組づくり	○ 地域課題の解決に取り組む県内の団体等に対し、幅広く支援を募るための仕組みの開設 ・マッチングを行う広島県の専用サイトの構築 ・現地における活動への伴走型支援 ・団体等への寄附金の受入、交付(企業版ふるさと納税の活用)など	16,000	9,999	9,999 [-]
合 計		16,000	9,999	9,999 [-]

令和3年度の成果目標と実績

- 事業目標：地域づくり活動団体と地域貢献企業とのマッチング体制の構築

指 標 名	基準値 (令和元年度)	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和3年度)
伴走支援件数	-	5団体	5団体
寄附金の受入、交付件数	-	3団体	0団体

令和3年度の目標と実績の乖離要因・課題

- 団体の取組に対する伴走支援等に時間を要し、首都圏等の地域貢献等に関心の高い企業において、寄附を検討いただくための、十分な時間が確保できなかった。
- また、アプローチする企業を、比較的社内の意思決定が速い中小企業に絞って募集活動を行ったが、「企業版ふるさと納税制度」の浸透度が低く、制度の理解を得るための時間を要した。

令和4年度の取組方向

- 令和3年度の取組結果を踏まえ、アプローチする企業について、寄附実績を有する大企業まで拡大する。
- 令和3年度に開設した専用サイトを通じて、令和3年度において伴走支援した取組について、引き続き寄附金を募るとともに、新規支援対象団体の早期決定等に努める。

令和3年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費	<table border="1"> <tr> <td>領域</td> <td>中山間地域</td> </tr> <tr> <td>取組の方向</td> <td>① 人材の発掘・育成、ネットワークの拡大</td> </tr> </table>	領域	中山間地域	取組の方向	① 人材の発掘・育成、ネットワークの拡大
領域	中山間地域					
取組の方向	① 人材の発掘・育成、ネットワークの拡大					
担当課	中山間地域振興課					
事業名	住民自治組織協働連携モデル推進事業 (単県) 【新規】					

目的

人口減少が加速し、集落の小規模・高齢化が進む中山間地域において、集落の状況に応じた柔軟な地域運営や創意工夫を活かした課題解決の取組を後押しすることによって、中山間地域における地域力の強化を図る。

事業説明

対象者

市町、住民自治組織

事業内容

(単位：千円)

区分	内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
住民自治組織の協働連携による地域課題の解決	<p>○ 複数の住民自治組織が連携した「安心な暮らしを支える取組」に対する支援</p> <p>【取組事例】 生活交通、移住定住、鳥獣害対策、買い物支援、耕作放棄地対策など</p> <p>【支援方法】 市町への補助（10市町程度）</p> <p>【補助額等】 市町による住民自治組織への支援額の1/2補助（上限：1,000千円）</p>	10,000	500	500 [-]
合 計		10,000	500	500 [-]

令和3年度の成果目標と実績

○ 事業目標

指 標 名	基準値 (令和元年度)	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和3年度)
補助取組件数	—	10件	1件

取組内容：世羅町・農業体験農園の開設

令和3年度の目標と実績の乖離要因・課題

○ コロナ禍により、住民自治組織の活動自体が自粛されており、組織間の連携による新たな事業の検討などが困難な状況にあった。

令和4年度の取組方向

- 令和3年度の取組結果を踏まえ、他県や県内各市町での具体的な取組の好事例の見える化を図ることなどを通じて、地域が抱える具体的な課題に即した取組の創出を市町と調整する。
- 複数年度にわたる取組についても想定するなど、地域課題の状況に応じた市町の具体的な取組に呼応した柔軟かつ効果的な支援を行っていく。

令和3年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費	領域	中山間地域
担当課	中山間地域振興課	取組の方向	② 新たな事業展開に向けたチャレンジ支援
事業名	チャレンジ・里山ワーク拡大事業（国庫） [一部新規]		

目的

中山間地域の遊休施設等を活用して、企業のサテライトオフィスの誘致や専門人材を確保しようとする市町を支援し、中山間地域における新しいワークスタイルの定着と企業誘致を促進する。

事業説明

対象者

中山間地域を有する市町、首都圏等のサテライトオフィスを検討する企業

事業内容

(単位：千円)

区分	内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
お試し勤務施設の整備	○市町が行う、企業の「お試し勤務施設」の整備に要する経費の一部を支援 【対象市町】中山間地域を有する市町（3市町程度）	30,000	200	198 [-]
専門人材の確保 [新規]	○市町と連携して、民間事業者による「コワーキング施設」の整備を支援 ○首都圏企業と専門人材のマッチング	16,000	10,100	10,077 [-]
市町の誘致活動に対する支援	○市町が行う誘致・受入体制の強化に対する支援	37,500	2,866	1,632 [-]
広報展開	○サテライトオフィスの設置に関心の高い企業等が、広島県の里山で働く新しいワークスタイルを効果的に情報発信（ビジネス誌、web上の特設サイト等）	10,000	9,650	8,760 [-]
合 計		93,500	22,816	20,667 [-]

令和3年度の成果目標と実績

○ ワーク目標

指 標 名	基準値 (令和元年度)	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和3年度)
サテライトオフィス進出決定累計件数	10件	25件	27件

○ 事業目標

指 標 名	基準値 (令和元年度)	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和3年度)
お試しオフィスの利用件数	77件	90件	44件

令和3年度の目標と実績の乖離要因・課題

- 企業誘致に取り組む中山間地域を有する市町は、令和2年度までの6市町から11市町となった。この11市町をカバーする広報展開や市町担当者による個別誘致活動の継続実施により、進出決定企業数は累計目標を達成した。
- その一方で、お試しオフィスの利用件数は新型コロナの影響により伸び悩み、目標数を下回った。
- デジタル人材、デジタル企業、市町がつながる場として開設したオンラインコミュニティには、500名以上が登録し、このうち企業とのマッチングイベントに参加した人材は59名となった。
- 今後は、取組市町の増加を強みとして生かし、企業が進出を検討する上で、幅広い選択肢となるよう、より積極的な情報発信による提案に努めていく必要がある。

令和4年度を取組方向

- 11市町を取組熟度が異なるため、進出事例の見える化などを図るとともに、11市町それぞれの地域特性を生かした誘致策を展開できるよう、市町間の連携強化を行う。
- 現地視察ツアー等、お試しオフィスの利用促進につながる市町を取組を継続して支援する。
- オンラインコミュニティ内での人材と企業との交流を深めるとともに、コミュニティ内でのイベント等を通じた登録者の裾野拡大を図る。また、本県への進出を検討する企業並びにその企業とマッチする人材の掘り起こしについても強化し、本県への企業進出決定につなげる。

令和3年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費	領域 中山間地域 取組の方向 ③ 中小企業の成長支援
担当課	中山間地域振興課	
事業名	中山間地域外部人材活用支援事業（単県）	

目的

中山間地域において、人材不足などの課題を抱える中小企業が、外部人材を活用して、自社の経営課題に継続的に取り組んでいくための意識啓発を図る。

事業説明

対象者

中山間地域を有する市町の中小企業

事業内容

(単位：千円)

区分	内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
外部人材活用に向けての普及啓発	<p>○外部人材の効果的な活用に向けた市町が主催するセミナーへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部人材の活用に向けた講師等の派遣 参加企業を対象としたアンケート調査 参加企業に対する外部人材活用に向けたフォローアップ <p>《セミナーの概要》</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象市町 中山間地域を有する市町 開催回数 15回（10市町程度） 対象者 中山間地域の中小企業経営者，地元経済関係団体等 	8,000	5,000	2,214 [-]
合 計		8,000	5,000	2,214 [-]

令和3年度の成果目標と実績

○ ワーク目標

指 標 名	基準値 (令和元年度)	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和3年度)
副業・兼業人材の活用に向けたセミナー参加企業数	-	83社	13社

令和3年度の目標と実績の乖離要因・課題

- コロナ禍を踏まえ、オンラインによる開催を呼び掛けたものの、対面による開催に対する潜在的なニーズの高さなどと相まって、開催回数は4回となり、当初計画した15回を下回った。なお、参加企業からは、外部人材活用が有効であるととらえる意見が多く寄せられた。
- また、市町や地域経済団体向け説明会でのアンケートによると、企業における課題の探索や課題解決に向けた動き出しに外部人材の活用が有効と考える意見が多い。一方で、外部人材活用に

よる具体的な経営課題改善のイメージが掴みにくいことや、実際に活用する場合のサポートを望む意見が多かった。

- そのため、今後は、中小企業の経営課題に日常的に関わる商工会など地域経済団体等との情報共有や連携をより強化していく必要がある。

令和4年度の実施方針

- 商工会など地域経済団体等に対する学習会や情報交換会等を開催するなど、外部人材活用に向けた関係情報の共有化やニーズ把握を行った上で、効果的な研修等を開催する。
- 外部人材活用等の導入事例の見える化を図り、関係市町や企業等関係者の意識改革を図っていく。

令和3年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費	<table border="1"> <tr> <td>領域</td> <td>中山間地域</td> </tr> <tr> <td>取組の方向</td> <td>④ デジタル技術を活用した暮らしの向上</td> </tr> </table>	領域	中山間地域	取組の方向	④ デジタル技術を活用した暮らしの向上
領域	中山間地域					
取組の方向	④ デジタル技術を活用した暮らしの向上					
担当課	中山間地域振興課					
事業名	デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業（単県）【一部新規】					

目的

中山間地域が抱える生活に身近な課題について、デジタル技術を活用して解決するための新たなサービスを導入しようとする市町の取組を支援し、広く中山間地域での普及展開につなげる。

事業説明

対象者

中山間地域を有する市町

事業内容

(単位：千円)

区分	内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
構 想 策 定 支 援 [新規]	○ 当該事業の実装に向けて、基本構想を策定する市町に対し、その策定経費を支援 【対象市町】 中山間地域を有する市町 【補助率等】 経費の1/2	10,000	2,475	2,475 [-]
実 装 へ の 取 組 支 援	○ デジタル技術を活用したサービスを通じて、中山間地域における身近な生活課題の解決を図る市町の取組を支援 【対象分野】 生活交通、農地保全、医療・福祉、防災・減災、移住・定住など 【対象市町】 課題解決に取り組む中山間地域を有する市町（市町による共同実施も可） 【補助率等】 事業費の1/2	100,000	14,992	13,569 [-]
合 計		110,000	17,467	16,044 [-]

令和3年度の成果目標と実績

○ワーク目標

指 標 名	基準値 (令和元年度)	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和3年度)
県の事業を通じ、デジタル技術を活用した課題解決に向けて取り組む件数	-	4件	3件

令和3年度の目標と実績の乖離要因・課題

- 令和3年度は3町が「デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業補助金」を活用して、新たな生活サービスを導入するとともに、1市が令和4年度の実装化につながる構想を策定した。
- 一方で、市町職員のマンパワー及び専門知識の不足を本質的な要因として、事業の推進に必要な技術的な見立てや、デジタル技術の実装による具体的効果に関する対外的に分かりやすい説明が困難となっていることなどが分かった。
- このため、今後は、こうした状況を補完していくための対応を講じていく必要がある。

令和4年度の実行方向

- 市町が抱える課題及び検討事業や進捗状況をヒアリングし、綿密な助言・提案等を行い、事業化を後押しすることで、取組モデルの創出を図る。
- その過程においては、市町職員のマンパワー及び専門知識の不足を補うため、民間事業者の専門的な知見などを取り入れながら、課題分析や成果測定指標の設定等に係る伴走支援を行う。

令和3年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：交通輸送対策費	<table border="1"> <tr> <td>領域</td> <td>持続可能なまちづくり</td> </tr> <tr> <td>取組の方向</td> <td>⑤ データと新技術を活用したまちづくり(スマートシティ化)の推進</td> </tr> </table>	領域	持続可能なまちづくり	取組の方向	⑤ データと新技術を活用したまちづくり(スマートシティ化)の推進
領域	持続可能なまちづくり					
取組の方向	⑤ データと新技術を活用したまちづくり(スマートシティ化)の推進					
担当課	交通対策担当					
事業名	広島型 MaaS 推進事業 (単県) 【新規】					

目的

交通事業者・利用者・受益者（商業施設等）が主体的に連携し、デジタル技術を活用しながら、交通と生活サービスをひとつのサービスとして提供する「広島型 MaaS」を県内全域に展開することで、中山間地域等の地域公共交通や広域ネットワークの利便性と持続可能性の向上を図る。

※MaaS（マース）：出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレスに、一つのアプリで提供するなど、移動を手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念

※広島型 MaaS：交通手段の統合にとどまらず、地域（住民）が主体となり、交通事業者、商業施設等の交通受益者と連携し、定額制の導入や生活サービスの統合などを行った新たな交通サービス

事業説明

対象者

市町等

事業内容

(単位：千円)

内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
調査事業 (MaaS 社会実装計画) ○地域で支える生活交通の仕組みづくりのための調査・基盤づくり ・地域が主体となって検討会を実施し、MaaS 社会実装計画を策定 ・必要に応じて短期の実証実験を実施 【補助内容】市町又は地域団体に対する補助 (補助上限：2 団体 2,000 千円)	4,000	4,000	3,982 [－]
総合事業 (MaaS 実証実験) ○MaaS を活用し、既存の交通システムの収益性を向上させる実証実験 ・MaaS 社会実装計画に基づく実証実験 【補助内容】市町に対する補助 (補助上限：1 団体 10,000 千円)	10,000	10,000	8,935 [－]
人づくり (研修・検討) ○市町担当者を対象とした研修会の開催 ○新たなモビリティ検討会の運営 ○市町担当者等への GTFS (標準的なバス情報フォーマット) データ作成研修	10,000	10,000	9,911 [－]
モビリティデータ基盤構築 ○モビリティデータ基盤の構築 ・公共交通データ、行政データの集積及び可視化等機能強化 ・実証実験の導入効果検証等、交通政策への活用	18,000	18,000	17,217 [－]
合 計	42,000	42,000	40,046 [－]

※端数処理の関係で積み上げた数値と合計額が異なる場合がある。

令和3年度の成果目標と実績

○ ワーク目標

指 標 名	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和3年度)
デジタル技術を活用して都市や地域の抱える諸課題の解決に向けた取組に着手している市町数(累計)	6市町	8市町	8市町
新たな交通サービスの導入に向けた取組件数(累計)	3件	7件	7件

○ 事業目標

指 標 名	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和3年度)
広島型 MaaS のモデルの創出	—	1件	1件*

※令和3年度に広島型 MaaS 実証実験を完了。今後、同取組を市町の交通計画に位置づけ、社会実装を進めていく。

令和3年度の目標と実績の乖離要因・課題

- 地域によって異なる交通課題に向き合い、広島型 MaaS の仕組みを柔軟に運用することで、山間部（庄原市東城地区、世羅町、安芸太田町）及び島しょ部（大崎上島町）における、地域が主体となった取組につなげることができた。
- 引き続き、厳しさを増す地域の公共交通について、市町に寄り添いながら、地域の実情に応じた持続可能な生活交通体系を構築していく必要がある。

令和4年度の取組方向

- 令和4年度は、引き続き調査事業（調査・研究）と総合事業（実証実験）における市町の取組を支援するとともに、人づくり研修やデータ連携基盤構築を通して、市町職員の企画立案能力の向上とデータを活用した政策形成を進め、地域公共交通の利便性と持続可能性の向上を図る。

令和3年度主要事業の成果

支出科目	款：土木費 項：都市計画費 目：都市計画総務費	<table border="1"> <tr> <td>領域</td> <td>持続可能なまちづくり</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取組の方向</td> <td>① 機能集約された都市構造の形成</td> </tr> <tr> <td>③ 災害に強い都市構造の形成</td> </tr> <tr> <td>④ 地域と連携し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進</td> </tr> </table>	領域	持続可能なまちづくり	取組の方向	① 機能集約された都市構造の形成	③ 災害に強い都市構造の形成	④ 地域と連携し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進
領域	持続可能なまちづくり							
取組の方向	① 機能集約された都市構造の形成							
	③ 災害に強い都市構造の形成							
	④ 地域と連携し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進							
担当課	都市計画課・住宅課							
事業名	持続可能なまちづくり推進事業 (一部国庫) 【一部新規】							

目的

人口減少下においても、県民生活や地域経済などを将来にわたって維持していくため、災害リスクが低く利便性の高いエリアへ居住が誘導された集約型都市構造を形成するとともに、地域の特性を生かした魅力的なまちづくりの推進を図る。

事業説明

対象者

県民，事業者，市町

事業内容

(単位：千円)

区分	内 容	当初 予算額	最終 予算額	予算 執行額 [繰越額]
市街化調整区域への編入	○土砂災害特別警戒区域の市街化調整区域への編入 ・市町と連携し、編入区域の選定に向けた地元調整の実施 (地元説明資料及び編入予定区域図の作成)	10,660	10,660	9,819 [－]
ゆとりと魅力ある居住環境の創出【新規】	○モデル地区での魅力ある居住環境の創出に向けたビジョンの策定支援 ・居住ニーズ調査，ワークショップ開催，目指すべき将来ビジョン・コンセプト策定などの市町の取組を支援	8,494	8,494	7,673 [－]
行政・住民協働型のまちづくり	○モデル地区での広島型ランドバンク事業の実施 ・事業実施体制の構築 (市町や地元住民組織等による協議会設置) ・事業スキーム(案)の有効性の検証	7,583	7,583	60 [－]
中古住宅の流通促進【新規】	○専門家や市町等による検討チームの設置 ・居住誘導区域内の既存住宅の需要・供給がマッチングしない課題等の分析，居住誘導を推進していくための道筋の検討	1,081	1,081	290 [－]
	合 計	27,818	27,818	17,841 [－]

※端数処理の関係で積み上げた数値と合計額が異なる場合がある。

令和3年度の成果目標と実績

○ ワーク目標

指 標 名	基準値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和3年度)
立地適正化計画策定市町数 (累計)	7市町 (令和元年度)	8市町	9市町
都市再生特別措置法に基づく 防災指針を策定した市町数 (累計)	0市町 (令和2年度)	0市町	1市町
魅力的な居住環境の創出に向 けて市町等と連携した取組件 数(累計)	0件 (令和2年度)	1件	1件

令和3年度の目標と実績の乖離要因・課題

- 立地適正化計画及び防災指針について、計画の必要性や重要性を説明するなど意識醸成を図るとともに、計画策定・改定委員会などに参画して広域的な視点で助言を行ったことにより、令和3年度は海田町において計画策定することができ、目標を達成できた。
- 魅力的な居住環境の創出に関しては、令和3年度に「東広島市広島大学周辺エリア」をモデル地区として選定し、居住環境の将来ビジョンの策定に向けて、東広島市が設置する検討会議に参画するなど連携して取り組んでおり、目標を達成した。

令和4年度の取組方向

- 市街化区域内の土砂災害特別警戒区域を市街化調整区域に編入する取組について、引き続き取組の周知を図り、市町と連携しながら、地元説明会を開催することなどにより、土地所有者などの関係者との調整を進め、市街化調整区域に編入する箇所を確定する。
- ゆとりと魅力ある居住環境の創出に関しては、令和4年度に新たに選定した地区も含めた3つのモデル地区（東広島市、府中市、廿日市市）において、各地域の特性を生かした居住環境の将来ビジョンの策定及びその実現に向けた取組について、引き続き、市町と連携しながら取り組んでいく。
- 行政・住民協働型のまちづくり（広島型ランドバンク事業）に関しては、令和3年度に作成した事業案に基づき、区画再編などの取組を実施し、事業スキームの有効性の検証を行う。
- 中古住宅の流通促進に関しては、令和3年度に設置した県及び学識経験者、民間企業で構成される「中古住宅の流通促進に向けた検討チーム」を拡充し、引き続き、官民が連携しながら、居住誘導に係るインセンティブ策などの具体的な方策について検討を行う。

令和3年度主要事業の成果

支出科目	款：土木費 項：都市計画費 目：都市計画総務費
担当課	都市計画課
事業名	魅力ある「まちなみづくり」支援事業（単県）

目的

本県における集客・交流の促進など地域の賑わい創出に向けて、魅力ある景観等、デザイン性のある都市空間の形成を図るため、市町が行う魅力あるまちなみづくりを支援する。

事業説明

対象者

魅力あるまちなみづくりに取り組む市町

事業内容

モデル地区*を選定し、市町が行う魅力あるまちなみづくりを重点的に支援することにより、早期に魅力あるまちづくりを進めるとともに、モデル地区以外の地域への普及を促進する。

*宮島口地区(廿日市市)・街道東城路周辺地区(庄原市)、忠海地区(竹原市)、本町西国街道地区(三原市)

(単位：千円)

区 分	内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
モデル地区 の支援	モデル地区において、ワークショップの運営支援を行うことで、策定されたまちづくりの指針となるデザインコンセプトの具現化に向け、事業推進体制の確立に向けた取組を重点支援する。	5,528	5,528	4,042 [-]
他地域への 普及促進	モデル地区の取組状況などを県内の市町と共有することにより、モデル地区以外への普及を促進する。 ① まちなみづくり未来勉強会開催による普及促進 ② 県HPによる情報発信【非予算】	1,898	1,898	979 [-]
合 計		7,426	7,426	5,021 [-]

令和3年度の成果目標と実績

○ 事業目標

指 標 名	基準値 (平成26年度)	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和3年度)
魅力ある景観に配慮したまちづくりに取り組む地区数	24地区	36地区 (平成26～令和3年度累計)	36地区 (平成26～令和3年度累計)

令和3年度の目標と実績の乖離要因・課題

- モデル地区の宮島口地区（廿日市市），街道東城路周辺地区（庄原市），忠海地区（竹原市），本町西国街道地区（三原市）において，策定したコンセプトの実現に向けた取組に対して支援を行った。
- 宮島口地区では，そぞろ歩きマルシェの開催等の賑わい活動に加え，まちづくり活動の推進組織「宮島口みらい協議会」の拠点施設整備や，山口大学の先生を講師にエリマネ講演会を開催するなど，協議会によるエリアマネジメントの実現に向け準備を進めた。令和4年3月に開催したマルシェでは，巖島公園線のほこみち制度（歩行者利便増進道路）の適用を目指し，道路を使用した実験を行った。
- 本町西国街道地区では，まちなみづくりガイドラインワークショップを開催し，令和3年8月に，「まちなみづくりガイドライン」を策定した。令和4年度以降は，本事業で策定したコンセプトの実現に向け，まちなみ環境整備事業により，景観形成の取組（建物修景，電線地中化，道路美装化等）を進めていく計画としている。
- なお，忠海地区については新型コロナの影響により活動を行うことができなかった。
- 10月には街道東城路周辺地区におけるこれまでの取組成果を他地域でまちなみづくりに取り組む関係者と共有し，地域間のネットワークづくりを後押しする「まちなみづくりネットワーク未来勉強会」を開催し，取組の普及促進を図った。

令和4年度を取組方向

- モデル地区については，引き続きワークショップの運営支援等を行い，策定したコンセプトの実現に向けたまちなみの景観整備や賑わいづくりの取組を支援する。
- 「まちなみづくりネットワーク未来勉強会」を宮島口地区と本町西国街道地区で開催し，取組の普及促進を図る。

令和3年度主要事業の成果

支出科目	款：土木費 項：住宅費 目：住宅振興費	領域 持続可能なまちづくり 取組の方向 ④ 地域と連携し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進
担当課	住宅課	
事業名	空き家活用検討事業（単県）【一部新規】	

目的

専門家派遣により、市町や地域が抱える課題を解決し、移住者受入れの基盤となる空き家バンクの充実等を支援することで、市町が取り組む空き家対策の推進を図るとともに、空き家バンクの効果的な情報発信により、移住希望者とのマッチングを促進する。

事業説明

対象者

空き家所有者，空き家活用に積極的に取り組んでいる地域の人，団体，市町

事業内容

(単位：千円)

内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
空き家活用 促進支援 <ul style="list-style-type: none"> ○空き家活用推進チームによる市町・地域などへの専門家派遣 市町や地域が抱えるボトルネックを解決するため、弁護士や建築士等の専門家を市町・地域等へ派遣し、課題別の勉強会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家活用の支援 (活用可能な空き家の掘り起こし、改修方法等の技術的助言) ・老朽危険空き家の解消に向けた支援 (法律や税，不動産の専門家から専門的助言) ○空き家バンクHPによる情報発信 県外の移住希望者のニーズに応じた情報発信を行い、移住希望者と市町等の空き家バンクとのマッチングを支援 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンクHPの運営 (物件情報の更新，デジタルマーケティングを活用したWEB広告) ・空き家バンクHPの充実・強化 【一部新規】 (リモートワークやワーケーションなどの多様な空き家の使い方の特集ページの追加，ニーズに沿った検索機能の強化) 	1,601	1,601	1,115 [-]
	7,846	7,846	7,837 [-]
合 計	9,447	9,447	8,952 [-]

令和3年度の成果目標と実績

○ ワーク目標

指標名	基準値 (令和元年度)	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和3年度)
県外からの移住者の空き家バンク成約数	73件	80件	80件

○ 事業目標

空き家バンクHPの 県外ユニークユーザー数※ (県外UU数)	6,386 UU/月	6,600 UU/月	8,106 UU/月
--------------------------------------	------------	------------	------------

※特定の期間内にHPを訪れた新規ユーザーの数

令和3年度の目標と実績の乖離要因・課題

- コロナ禍での移動制限等により、物件検討が難しい状況であったが、ひろしま空き家バンクウェブサイト「みんと。」において、コロナ禍の居住ニーズの変化を捉えた特集ページの作成及びデジタルマーケティングを活用したウェブ広告を実施するなど効果的な情報発信を行い、県外の移住希望者等と空き家のマッチングを促進させた結果、県外からの移住者の市町空き家バンク成約数について、目標を達成した。
- 空き家活用推進チームの専門家を市町や地域に派遣し、空き家を活用した事業実施や空き家の適正管理等の課題解決を図っているが、市町によっては、倒壊のおそれのある危険空き家に対する「空家等対策の推進に関する特別措置法（以下「空家特措法」という。）」に基づく行政代執行及び略式代執行に係る技術的な面に課題があるため、県内市町の行政措置等の事例を「広島県空き家対策事例集」としてまとめ、実務上のノウハウの共有を行った。

令和4年度を取組方向

- 空き家に関する対策については、県内共通の基本目標と取組の方向性を設定した「広島県空き家対策対応指針」において、市町や関係団体等の取組を、県が支援することとしている。
- 引き続き、市町・地域等と連携し、ひろしま空き家バンクウェブサイト「みんと。」に移住希望者のニーズに合った情報を掲載した上で、デジタルマーケティングを活用したウェブ広告の実施やVRによる物件紹介を行う等、デジタル技術を活用した効果的な情報発信を行うことにより、県外からの移住希望者と空き家のマッチングを促進する。
- また、空き家活用推進チームの専門家の派遣などにより、地域の実情に応じた空き家活用策の検討支援や実践的なアドバイスの実施、空家特措法に基づく市町の行政代執行及び略式代執行の実施に係る技術的な支援等を行うとともに、空き家所有者へのアプローチを強化することにより、活用可能な空き家の掘り起こし及び空き家バンクへの登録の促進に向けた支援を効果的かつ効率的に推進し、市町や地域が抱える課題解決に向けた更なる支援に取り組む。

令和3年度主要事業の成果

支出科目	款：土木費 項：都市計画費 目：都市計画総務費	領域 持続可能なまちづくり 取組の方向 ④ 地域と連携し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進
担当課	営繕課	
事業名	魅力ある建築物創造事業（単県）	

目的

本県のブランドイメージの向上を図るため、魅力ある公共建築物の創造・発信やクリエイティブな人材の育成などを積極的に推進する。

事業説明

対象者

建築関係者（建築家、学生等），県民

事業内容

(単位：千円)

内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
魅力ある公共建築物の創造・発信 ① 広島型建築プロポーザル方式の実施 ② 広島型建築プロポーザル方式の市町への普及及び技術支援 ③ 事業成果（広島叡智学園・建築学生チャレンジコンペ等）の情報発信 ・トークイベント，完成見学会等	3,276	2,855	931 [-]
民間建築物への波及 ① 県内の魅力ある建築物の発信イベント「ひろしまたてものがたり」の展開 ・ひろしまたてものがたりフェスタ ② クリエイティブな人材育成 ・建築学生チャレンジコンペ	119	119	17 [-]
合 計	3,395	2,974	948 [-]

令和3年度の成果目標と実績

○ ワーク目標

指 標 名	基準値 (令和元年度)	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和3年度)
ひろしまたてものがたり サポーター数※ ¹	5,240人	6,390人	6,930人

※1：各種イベントの延べ参加者数（累計）とSNSフォロワー件数の合計

○ 事業目標

指 標 名	基準値 (令和元年度)	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和3年度)
イベント等参加人数	964人※ ²	830人	1,139人

※2：H28～R1のイベント参加人数の年間平均を採用

令和3年度の目標と実績の乖離要因・課題

- イベント等を現地開催だけでなくWEB配信するなど、より参加しやすい開催方法としたこと、建築関係団体からの情報発信やSNSを利用し積極的に情報発信したことで、限られたイベントにおいても多くの参加があり単年度の目標を達成し、順調に推移している。

令和4年度の実績と取組方向

- 令和3年度の実績を踏まえ、現地開催に加えてWEBによる配信など開催方法を多様化し、より多くのサポーターの獲得を目指す。また、SNSを利用した情報発信や建築関係団体と連携し、幅広く積極的な広報活動を実施する。